

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルを【レベル1注意】に引き下げます

直近2週間（6月23日（火）から7月6日（月））の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、別添のとおり7月7日（火）からのリスクレベルは【レベル1注意】に引き下げます。

※リスクレベルを下げる場合は、過去2週間の発生状況を踏まえて総合的に判断することとしています。

【概要】

1 期間中の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし感染者数
6月30日（火）～7月6日（月）	0名	0名
参考：6月23日（火）～6月29日（月）	0名	0名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（7月1日発表）	今回（7月8日発表）
レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない	レベル1注意 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない

※詳細は別添のとおり。

3 県民の皆様へのお願い

- ・三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的感染防止をお願いします。
 - ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
 - ・発熱又は風邪の症状がある場合は、自宅で療養しましょう。また、コロナウイルス検査を受ける時や感染者との濃厚接触疑い時などに、保健所から自宅待機を指示された場合は、指示を守っていただきますようお願いいたします。
- ※外出自粛、イベントの開催制限等詳細は別添のとおり。

4 避難所における感染防止対策について

7月4日に発生した水害に関連し、避難所における感染防止対策については、被災者の方やスタッフのみならず、ボランティアの方等も含め、全員が徹底するよう指導・啓発して参ります。

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
（健康福祉部健康危機管理課）
問合せ先：上野、中満
電話：096-333-2478
（内線）5930、5933

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和2年（2020年）7月8日】

1 熊本県における現状認識

本県においては、6月22日に1か月半ぶりに感染者1名を確認したが、その後、期間中（6/30～7/6）に新規感染者は確認されていない。

リスクレベルについては、今般、2週間感染者が確認されなかったことから、「レベル1注意」に引き下げる。県内の感染状況の傾向については、先週から変化は見られない。

国内のその他の状況として、九州内で、クラスターやクラスターと思われる事例が発生しており、多数の感染者が確認されている。また、首都圏においては、毎日100人を超える感染者が確認されており、感染の拡大傾向が見られている。さらに、7月10日には、国の方針により対応が緩和（イベント参加者の上限増加）される見込みである。

そのため、県民及び事業者の皆様に対し、熱中症予防に配慮しつつ、基本的な感染防止対策、「新しい生活様式」の実践、県の感染防止対策チェックリスト及び国が取りまとめた業種ごとの感染拡大予防ガイドライン、接触確認アプリの周知を継続することが重要である。

また、7月4日以降に発生した水害に関連し、避難所における感染防止対策については、被災者の方やスタッフのみならず、ボランティアの方等も含め、全員が徹底するよう、指導及び啓発が必要である。

前回（7/1）	今回（7/8発表）
レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。	レベル1注意 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「平常」の5区分で判断する。

※レベルに加え、感染状況の傾向の判断を行う。

[熊本県リスクレベル]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は

本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策例
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者15名以上 かつ ②リンク無し感染者8名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の自粛要請 ・施設への休業要請
レベル3 警報	県内で ①新規感染者10名以上 又は ②リンク無し感染者5名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請 ・施設への休業要請
レベル2 警戒	県内で①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事の自粛要請 ・不特定多数が利用する県有施設の閉館
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生	レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・新しい生活様式の広報・実践

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※各所管施設の開閉においては、所在する市町村と情報共有し、調整に努めること。

※3つの密とは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (7月7日現在)

○熊本県では、6月22日、1か月半ぶりに天草保健所管内において、感染者1名が確認されたものの、先々週(6/23～6/29)、先週(6/30～7/6)と2週間新規感染者が確認されなかったことから、「レベル1注意」に引き下げることが妥当である。

○なお、熊本市内では感染者は確認されていないため、熊本市においては「レベル1注意」を継続する。

○一方で、隣県である福岡県及び鹿児島県においては、飲食店からクラスター(集団感染)が発生したほか、東京都においては、日ごとの感染者数が連日100人を超えるなど、感染拡大の傾向が見られる。

○そのような状況下、7月10日には、国により更なる制限緩和がなされる見込みであることから、県民・市民及び事業者の皆様には、気を緩めることなく、引き続き熱中症予防に留意しつつ、「新しい生活様式」の実践に取り組んでいただきたい。

○あわせて、厚生労働省が開発した接触確認アプリ「COCOA」が広く活用されることで、感染拡大の端緒を捉えることが可能になると考えられるため、県民・市民への周知を促進していく必要がある。

○また、7月4日以降に発生した水害に関連しては、避難所における感染防止対策について、徹底していただくようお願いする。

3 県民の皆様へのお願い（7月8日発表）

熊本県のリスクレベルを【レベル1注意】に引き下げます。

また、感染状況の傾向に変化はありません。

つきましては、感染防止のため、次の対応をお願いします。

（1）基本的な考え方

- ・ 三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的感染防止をお願いします。
- ・ 「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・ 発熱又は風邪の症状がある場合は、自宅で療養しましょう。また、コロナウイルス検査を受ける時や感染者との濃厚接触疑い時などに、保健所から自宅待機を指示された場合は、指示を守っていただきますようお願いいたします。

（2）外出自粛について

- ・ 県をまたぐ移動は基本的に自由ですが、引続き「三つの密」のある場及び感染が流行している地域へは、「新しい生活様式」の一環として、移動を控えてください。

（3）イベントの開催制限について

- ・ 全国的又は広域的な人の移動が見込まれ、参加者の把握が困難な お祭り・野外フェス等の開催は、中止を含めて慎重に検討してください。
- ・ 屋内のコンサート、展示会等については、収容率50%以内かつ**1,000人***以下のものは可能です。
- ・ 屋外のコンサート等については、十分な間隔(できれば2m)を取り、かつ**1,000人***以下のものは可能です。
- ・ 参加者がおおよそ把握できる地域の行事（盆踊り等）については、適切な感染防止策を講じたうえで実施してください。
- ・ プロスポーツ等は、**無観客試合は可能***ですが、主催者において選手・出演者等に対し、適切な感染予防策を講じてください。
- ・ いずれのイベント実施も、3密を避ける等の基本的な感染防止の徹底が条件です。

※…7月10日以降、イベントの参加者上限は、プロスポーツ等を含め5,000人まで緩和される予定です（詳細は別途発表します）。

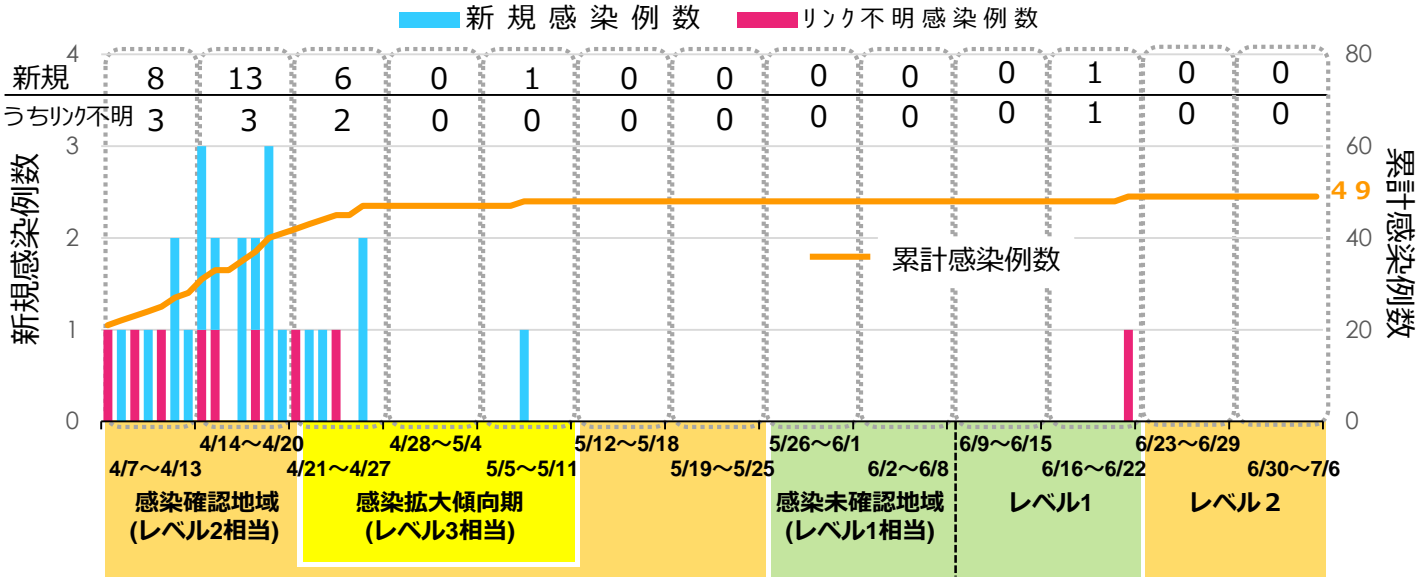
（4）事業者の感染防止活動について

- ・ 県が示したチェックリスト、国が取りまとめている業種ごとの感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行ってください。
- ・ 県民の皆様は、感染防止活動を行っているお店を選んで利用してください。

（5）その他

- ・ 避難所における感染防止対策を、徹底してください。
- ・ 厚生労働省がリリースした接触確認アプリについては、積極的な利用をお願いします。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（4/7～7/6）】



累計感染例数

避難所における 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、避難所を利用される皆様におかれ
ては、次の点に御留意ください。

事前の準備

1 避難に必要な物品は持参できるよう、あらかじめ用意しておきましょう

- ・マスク、消毒液（又はウェットティッシュ）、タオル、体温計、常備薬、食料など、必要な物品は持参できるよう、あらかじめ用意しておきましょう。

避難所での留意事項

1 マスクを着用しましょう

- ・避難所ではマスクを着用しましょう。
- ・ただし、熱中症対策として、激しい運動は避けるとともに、のどが渇いていなくてもこまめな水分補給を行いましょう。
- ・なお、つい立てなどで人と対面しないときや、屋外などで周囲の人と十分な距離が取れるときは、適宜マスクを外しましょう。



くっつかないモン
#KeepDistance

2 人と人の距離をできるだけとりましょう

- ・避難所入所受付時や物資配布受取時は前の人との間隔を空けるなど、人と人の距離をできるだけとりましょう。

3 こまめに手を洗いましょう

- ・食事の前やトイレの後、共用部分に触れた後など、こまめに手を洗いましょう。
水が出ない場合はアルコール等で手を消毒しましょう。



手を洗うモン
#WashHands

©2010熊本県くまモン

その他留意事項

1 接触確認アプリを活用しましょう

- ・万が一避難所において感染者が確認された場合に備え、国がリリースした接触確認アプリを積極的に活用しましょう。

2 症状が出た場合は速やかに避難所の施設管理者に連絡しましょう

- ・基本的に毎日検温しましょう。
- ・避難所を利用された日時等を記録しておき、発熱等の症状が出た場合は速やかに避難所の施設管理者に連絡しましょう。

連絡先：〇〇保健所 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

熊本県健康福祉政策課避難所等支援室 096-333-2604

熊本県健康危機管理課 096-333-2478

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application

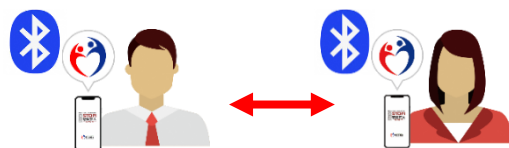


*画面イメージ

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取る
ことができる、スマートフォンのアプリです

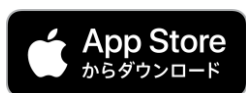
- 本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
- ・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※記録は14日経過後に無効となります
- ※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら

